
通りすがりの魔術師

桔梗

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

通りすがりの魔術師

【Nコード】

N5436L

【作者名】

桔梗

【あらすじ】

きずいたら白いくつかんに・・・「今日からあなたは魔術師です」
ここはどこだ・・・

不思議な不思議な魔法のものがたり！

裏の世界

がさがさがさ

！

「大丈夫ですよ！おそってはきませんから・・・たぶん・・・」

「たぶんってなんだよ！」

俺は今あの白い空間から裏の世界とか言うところにいる・・・
なにも知らされずにむりやりつれてこられた・・・

ここはどうなってるんだ・・・？

裏の世界って森なのか・・・！？

どこからどう見てもふつうの森の中にいる・・・

「おい！ロードー！」

「どうしましたか？・・・」

「ここはどうなってるんだよ！そろそろ教えてくれたっていいだろ！
裏の世界やら、魔術師の・・・」

「魔術師の？」

「じととか・・・」

「ほおー興味をもってくれましたか・・・！」

「ちげえよ!!!」

ロードはあきれがおになって言った。

「そんな気持ちじゃあおしえられませんね」

「んな!」

「じゃあ・どうしたら教えてもらえるんだよ!」

「自分で考えてください。」

「ふざけんな!!おれはもういい!!一人で行動する!」

「あ!ちよつと」

要は1人になった・
いざとなってどうしていいかわからない・
とりあえずいつ脱けられるかわからない森の中を探索することにした・

ここは本当に不気味な所だ・霧が少しかかっている・いつ
猛獣がでてもおかしくなくらいぶきみだ・
その森の中で俺は1人で行動している。
少し怖い気持ちもあった。
でもロードの所にはいきたくない!

がさがさがさ

!!!!!!

草の中からなんかでてきた・
一番おそれていたことが・

草の中からでてきたのは4メートルくらいもある

熊だ・いや・なんかちがう

熊には角はない・

しかもキバがむきだし・

そのキバは血に染められている

誰かがやられてしまったのだろうか・

ぐおおおおおおう

!

死ぬ。

俺はここで死ぬのか？

ばかでかいキバが要めがけておそってくる

要は目を閉じた

がつ!!

.....

・
・
・
・
・
・

あれ？

なんで生きてるんだ？

俺は・
・

そつと目をあけた・
・

！

そこにいたのは

一人の少女であつた。

「おまえはだれだ・
・
・」

少女はどなった

「早くにげる！」

「でも・
・！」

「はやくしろ！」

少女は要の腹を蹴飛ばした。

要は10メートルくらいとんだ。

「ぐぶうー！う」

地面にたたきつけられた。

あいつはなんだよ！背は150はないかあるくらい。

髪の毛は金髪でストレート。

少女が飛ぶたびに髪が舞う。

それは美しいしか言いようがなかった。

少女は身軽にとんだり

銃みたいな物をもっていたりしていた。

猛獣と戦っていた。

バーーン

じゅうおんがなった・・・

少女が振り向いた。

少女の顔は血だらけだった・・・

つづく・・・

裏の世界（後書き）

・つかれたああああ

なんか・ありふれている話になりそうだけど・
どうか見てください！！

魔術師

「今日からあなたは魔術師です。」
見知らぬひと・・・こいつはだれだ？

ここはどこだ？

なぜだ・・・なぜなんだ・・・

記憶がない・・・。なにも・・・おぼえてない・・・

俺はなのをしている・・・

ん？

なんだあれは・・・

6メートルさきに俺がたつてる・・・

もう1人のおれ・・・

どういうことだ・・・

「あれはあなたの分身です。」

「さつきもいったんですけど・・・あなたは魔術師となるんです。」

「現実にいるあなたがいきなり消えたらあなたの周りの人が心配しますから・・・」

「あそこにいるもう1人のあなたを現実におくるんですよ。」

さつきからぺちやくちやくしゃべってるこいつはなにモンなんだ？

「あゝ！申しおくれました！わたくしは魔術師派遣会社の「佐波・ロード」と言わせて・・・
裏の世界から参りました！」

身長175くらいで・髪色は紫・服は黒で統一している。

「あなた様の名前は・・・え」と・・・

ぺらぺら・・・

「あつた！佐々見・要・・・？ですよね？」

棒読みでよみきつた・・・

「なんで俺の名前を・・・しってた・・・よ・・・」

じじく

魔術師（後書き）

はじめて書きます！

どうか暖かい目でみてやってください（笑

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5436/>

通りすがりの魔術師

2010年11月22日22時43分発行